

大学院 博士前期課程	ディプロマポリシー	博士後期課程には年以上在学して所定の単位を修得し、授業活動を通じて、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して修了を認定し、博士(情報学)の学位を授与する。 1) 高度な情報技術を駆使して情報科学分野の先端課題に取り組み、新技術、新発想の発見・研究開発を推進することができる。 2) 必要な情報を自ら収集・分析し、課題発見ならびに解決のための計画・立案を主体的かつ継続的に実行できる。 3) 研究成果を学術論文として作成し、国内外および国際学会等で正確かつ論理的に発表することができる。 なお、学術・研究において顕著な成果が認められる者については、在学期間を短縮して博士後期課程を修了することができます。							
	カリキュラムポリシー	情報科学分野の第1線で活躍できる優れた研究者を養成すると、および社会人を再教育して高度専門職業人を養成することを目的とした特種研究科目を複数開設し、他校との連携体制を構築する。 1) 計算機工学ソフトウェア領域 2) 認知・情報メディア領域 3) 情報システム・通信ネットワーク領域							
大学院 (博士後期課程)	大学院 (博士後期課程)	情報科学研究博士後期課程では、博士前期課程で培った情報技術基礎や研究遂行能力をさらに高めて情報科学体系の総合的な理解を深め、課題解決に体系的・多面的な取り組みを主導できる高度情報技術者・研究者の養成を教育理念としており、この理念に沿った学生を受け入れます。 ＜求める人物像＞ 1) 高度な専門知識・技術を駆使して情報科学分野の先端課題に取り組む高度情報技術者・研究者をめざす人 2) 情報科学分野の先端課題を自ら発見し、新技術・新発想に取り組み、新技術・新発想の発見・研究開発を推進することができる人 3) 高度情報技術者・研究者として責任を自覚し、社会における課題解決のための計画・立案を立案して遂行する意思を有する人							
大学院 博士前期課程	ディプロマポリシー	博士前期課程に2年以上在学して所定の単位を修得し、授業や研究活動を通じて、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して修了を認定し、修士(情報学)の学位を授与する。 1) 幅広い教養を持ち、社会をより豊かにするために情報科学が果たす役割を理解するとともに、情報技術者として果たすべき役割の自覚と倫理観および地球規模からの視座に行動できる。 2) 情報科学の基礎技術や情報システムの高度な専門知識を身に付け、問題解決にアプローチでき、ハードウェア・ソフトウェア・システムの設計および実装を行うことができる。 3) 自分の考えや研究成果を正確かつ論理的に伝えるプレゼンテーション能力および国際的に通用するコミュニケーション能力を持つ。 4) 情報を整理・分析し、問題解決のための計画・立案を立案して主体的かつ継続的に実行できる。 なお、学術・研究において顕著な成果が認められる者については、在学期間を短縮して博士前期課程を修了することができます。							
	カリキュラムポリシー	情報科学分野の社会的ニーズに応えるため、国際的に通用する高度な知識と創造的な能力に重み、また起業家精神をもった情報技術者・研究者を育成することを目標として「情報基礎」「情報専門」「実習」「研究」の各領域を設けてカリキュラムを編成する。 1) 研究・開発では、「情報科学研究」として特定の研究テーマについて研究し、修士論文として発表できる能力を養う。 2) 研究以外の活動として「実習」では「情報科学実習(学内)」「インターンシップ」などの科目を通じた実習を行い、広い視野と実践的技術力を養う。 3) 社会的な課題に対してクラウド技術等を活用できる技術者育成を目指す。関西圏の他大学院と連携したアクティブラーニング型教育により実践力と応用力を高める。							
ディプロマポリシー	情報科学専攻科では、情報分野において高い専門性を必要とする業務を遂行するために必要な能力、およびその基礎となる学識を養い、時代の要請を的確に把握し、国際的に活躍できる高度情報技術者ならびに専門職業人の養成を教育理念としており、この理念に沿った学生を受け入れます。 ＜求める人物像＞ 1) 情報分野における高度な専門的知識や実践的技術の修得をめざす人 2) 情報分野の第一線で活躍する研究・開発者をめざす人 3) 進取の気持で、国際的な視点と企業精神を兼ね備えた活動者 4) 能動的に学習や研究、実践的活動を遂行できる人								
カリキュラム	18単位	24単位	5単位	6単位					
後期	情報科学特論D 1 情報科学特論B 1 情報科学特論C 1 情報科学特論B 1	情報科学特論A 1 生体情報処理特論B 1 生体情報処理特論A 1 情報科学特別講義D 1 情報科学特別講義B 1	知能情報システム論 2 コンピュータグラフィックス特論 2 情報セキュリティ特論 II 1 情報セキュリティ特論 I 1 分散情報システム特論 1	情報ネットワーク特論 II 1 情報ネットワーク特論 I 1 分散情報システム特論 1					
中期	情報科学特別講義C 1 情報科学特別講義A 1	情報科学特別講義D 1 情報科学特別講義B 1	インターンシップ 1 情報科学実習(学内) 2	情報科学実習(海外) 2					
前期	機械学習論 1 情報科学特論C 1 情報科学特論A 1	●情報技術者と倫理 1 英語プレゼンテーションB 1 英語プレゼンテーションA 1	制御システム特論 2 計算機構成論 II 1 計算機構成論 I 1	知能ネットワーク特論 2 ソフトウェア構成論 2 ソフトウェア工学特論 1					
分科	情報基礎領域	情報専門領域	実習	研究					
カリキュラム	情報科学分野の社会的ニーズに応えるため、国際的に通用する高度な知識と創造的な能力に重み、また起業家精神をもった情報技術者・研究者を育成することを目標として「情報基礎」「情報専門」「実習」「研究」の各領域を設けてカリキュラムを編成する。 1) 研究・開発では、「情報科学研究」として特定の研究テーマについて研究し、修士論文として発表できる能力を養う。 2) 研究以外の活動として「実習」では「情報科学実習(学内)」「インターンシップ」などの科目を通じた実習を行い、広い視野と実践的技術力を養う。 3) 社会的な課題に対してクラウド技術等を活用できる技術者育成を目指す。関西圏の他大学院と連携したアクティブラーニング型教育により実践力と応用力を高める。								
ディプロマ	情報科学専攻科では、情報分野において高い専門性を必要とする業務を遂行するために必要な能力、およびその基礎となる学識を養い、時代の要請を的確に把握し、国際的に活躍できる高度情報技術者ならびに専門職業人の養成を教育理念としており、この理念に沿った学生を受け入れます。 ＜求める人物像＞ 1) 情報分野における高度な専門的知識や実践的技術の修得をめざす人 2) 情報分野の第一線で活躍する研究・開発者をめざす人 3) 進取の気持で、国際的な視点と企業精神を兼ね備えた活動者 4) 能動的に学習や研究、実践的活動を遂行できる人								
ディプロマ	4年以上在学して所定の単位を修得し、授業および卒業研究を通じて、下記に掲げる能力を有すると判断される学生に対して卒業を認定し、学士(情報学)の学位を授与する。 【情報科学専攻】 ① 各種システムを開発することができる専門能力 ② 数学・自然科学など理工系専門知識、およびハードウェア・ソフトウェア・システムに関する専門知識を持ち、高度情報化社会のためのシステム開発に活用できる。 ③ 豊かな感性・倫理的な思考力と柔軟な発想力や正確かつ論理的に情報を伝えるコミュニケーション能力を持ち、他者と協働して活動できる。 ④ 自然・人間が共生する社会で安心して暮らすための実践に必要な人間力 ⑤ 自然、社会、文化に対する広い人間的素養を持ち、地球規模で物事を考え行動できる。 ⑥ 責任感、倫理観、実行力を持ち自覚的に判断し行動できる。 ⑦ 幅広いものごころの深い、関心・興味を持ち、自主的・継続的に学習することができる。 【データサイエンス学科】 ⑧ データサイエンス分野における収集・分析から得られた成果の活用が人や社会および自然等に及ぼす影響を理解し、それらの改善に取り組むことができる。 ⑨ 社会システムの発展・改良に向け、広い視野および倫理的な視点から判断し、行動できる。 ⑩ 情報倫理技術および統計分析に関する基礎知識を有しており活用できる。 ⑪ 課題の発見と解決を目指す意欲と、データの収集・分析・整理・可視化・問題解決ならびに価値創造を提案することができる。 ⑫ 自分の考えを論理的かつ正確に伝え、かつ、相手を理解するために必要なコミュニケーション能力を有し、他者と協働して活動することができる。								
分科別到達目標	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養として、幅広い国際的・人文学的素養、倫理観、ならびに言語的知識を有し、国際的な視点と企業精神を兼ね備えた活動者を目指す。心の健康を維持増進する方策を講じている。	社会を積極的に発展させる基礎的素養として、物理学をはじめとする自然科学の基礎知識を有し、科学的見識に基づく思考・判断ができる。	自分自身の主体的な取り組みによって豊か、自覚的に行動できる。特に社会的に必要とされる課題を、社会に即して自分の力で解決しようとする意欲を有し、自らを鍛え、自己成長を促すことができる。	専門科目を学ぶ上で必要となる数学に関する基礎知識を身につけたうえで、物理学・化学などの自然科学に関する基礎知識を身につけて理解し、説明することができる。	データサイエンスの意義やデータの収集、分析、活用に関する基本的な技術および情報科学に関する基礎知識を身につけて理解し、説明することができる。	大量のデータを収集し効果的に分析する技術ならびに情報システムを実際に構築するためのシステム設計を具体的な課題に適用できるとともに、システムの企画・計画を行うための技術を理解し説明することができる。	価値創造の対象となる企業や社会の仕組みと課題などについて、概要を説明することができる。	プログラミングの演習ならびにそれまでに学んできた知識を、実際の事例に適用することができる。	卒業に必要な単位数 124単位
配分単位数合計	4	4	18単位	26単位	28単位	25単位	17単位	114単位	
4	【3-4年次】 【人文社会科学】 情報法論(2) 【他領域】 英語の読法(2) 英語による情報技術 II (2) 英語読解(1) 【健康・スポーツ科学】 健康科学(2) スポーツ科学実習(1)	【4年次】 科学史(2)	数値計画法 2 微積分学 II 2 線形代数 II 2	多変量解析 2 実験計画法 2	人工知能 2 情報セキュリティの基礎 2 オペレーティングシステムリサーチ 2	●情報ゼミナール 2 情報技術者論 2 マーケティング論 2	情報科教育法 2 経営戦略論 2 教育工学 2 ロジスティクス 2 教育ファイナンス 2 経営システム論 II 2 モチベーションとシミュレーション 2	●価値創造実習 2 データサイエンス実践演習 III 2 データサイエンス実践演習 II 2 データサイエンス実践演習 I 2	
3	【1-2年次】 【人文社会科学】 情報学基礎(2) 人間文化と人間(2) 数学基礎(2) 社会学基礎(2) 情報社会学(2) 応用倫理学(2) 日本の歴史(2) 文化基礎(2) 韓国文化(2) 日本語読法(2) 法科学基礎(2) 経済学基礎(2) 現代物理学入門(2) 心理学基礎(2) 【外国語】 英語読解(basic 1)(1)(1) 英語読解(basic 1)(1)(1) 英語読解 I a)(1) 英語読解(basic 2)(1)(1) 英語読解 I b)(1) 英語読解 II a)(1) 英語読解 II b)(1) 英語による情報技術 I a)(1) 英語による情報技術 I b)(1) 【健康・スポーツ科学】 健康科学(1) 健康スポーツ科学(1)	【1-2年次】 物理学基礎(2) 力学(2) 電磁気学(2) 物理学現象の数理(2) 現代物理学入門(2) 化学基礎(2) 環境情報科学(2) 地球科学基礎(2) 地球環境論(2) 生命科学基礎(2) 情報生命科学(2) 視る自然科学(2)	●確率・統計 2 グラフ理論 2 情報数学 2	■データ構造とアルゴリズム 2 情報通信ネットワーク 2	●統計解析 2 発想法と問題解決 1 ●機械学習 2 パターン認識 2 テキストマイニング 1 ●経営システム論 I 2 システム工学 2	●ソフトウェア工学 2 ビジネスプログラミング論 2 情報科学実践演習(国際PBL) 1	■工業経営論 2 モータリゼーションとシミュレーション 2 教育技法 2	●データサイエンス実践演習 I 2 Java演習 3 C演習 II 3 C演習 I 3	
2	【1-2年次】 【人文社会科学】 情報学基礎(2) 人間文化と人間(2) 数学基礎(2) 社会学基礎(2) 情報社会学(2) 応用倫理学(2) 日本の歴史(2) 文化基礎(2) 韓国文化(2) 日本語読法(2) 法科学基礎(2) 経済学基礎(2) 現代物理学入門(2) 心理学基礎(2) 【外国語】 英語読解(basic 1)(1)(1) 英語読解(basic 1)(1)(1) 英語読解 I a)(1) 英語読解(basic 2)(1)(1) 英語読解 I b)(1) 英語読解 II a)(1) 英語読解 II b)(1) 英語による情報技術 I a)(1) 英語による情報技術 I b)(1) 【健康・スポーツ科学】 健康科学(1) 健康スポーツ科学(1)	【1-2年次】 物理学基礎(2) 力学(2) 電磁気学(2) 物理学現象の数理(2) 現代物理学入門(2) 化学基礎(2) 環境情報科学(2) 地球科学基礎(2) 地球環境論(2) 生命科学基礎(2) 情報生命科学(2) 視る自然科学(2)	●微分方程式 2 ●微積分学 I 2 ●線形代数 I 2	●プログラミング基礎 2 データサイエンス入門 2 コンピュータリテラシー 2 コンピュータ入門 2	●教育心理 2 IoT概論 2 情報処理基礎 2 テクニカルライティング 2	●情報ゼミナール 2 情報技術者論 2 マーケティング論 2	●情報科教育法 2 経営戦略論 2 教育工学 2 ロジスティクス 2 教育ファイナンス 2 経営システム論 II 2 モチベーションとシミュレーション 2	●データサイエンス実践演習 I 2 Java演習 3 C演習 II 3 C演習 I 3	
1	【1-2年次】 【人文社会科学】 情報学基礎(2) 人間文化と人間(2) 数学基礎(2) 社会学基礎(2) 情報社会学(2) 応用倫理学(2) 日本の歴史(2) 文化基礎(2) 韓国文化(2) 日本語読法(2) 法科学基礎(2) 経済学基礎(2) 現代物理学入門(2) 心理学基礎(2) 【外国語】 英語読解(basic 1)(1)(1) 英語読解(basic 1)(1)(1) 英語読解 I a)(1) 英語読解(basic 2)(1)(1) 英語読解 I b)(1) 英語読解 II a)(1) 英語読解 II b)(1) 英語による情報技術 I a)(1) 英語による情報技術 I b)(1) 【健康・スポーツ科学】 健康科学(1) 健康スポーツ科学(1)	【1-2年次】 物理学基礎(2) 力学(2) 電磁気学(2) 物理学現象の数理(2) 現代物理学入門(2) 化学基礎(2) 環境情報科学(2) 地球科学基礎(2) 地球環境論(2) 生命科学基礎(2) 情報生命科学(2) 視る自然科学(2)	●微積分学 I 2 ●線形代数 I 2	●プログラミング基礎 2 データサイエンス入門 2 コンピュータリテラシー 2 コンピュータ入門 2	●教育心理 2 IoT概論 2 情報処理基礎 2 テクニカルライティング 2	●情報ゼミナール 2 情報技術者論 2 マーケティング論 2	●情報科教育法 2 経営戦略論 2 教育工学 2 ロジスティクス 2 教育ファイナンス 2 経営システム論 II 2 モチベーションとシミュレーション 2	●データサイエンス実践演習 I 2 Java演習 3 C演習 II 3 C演習 I 3	
分科	総合人間学系	総合理学系	キャリア	数理科学	専門基礎	基礎科目	応用科目	演習科目	
カリキュラム	情報科学専攻カリキュラム・ポリシー 1) 豊かな人間性を兼ね備えた高度な専門知識と実践的技術に関する教育を通じて幅広い教養を身に付け、社会の多様化や高度情報化に柔軟に対応できる能力を育成する。また、キャリア科目を通じた教育により、大卒の労働市場での活躍を支援し、社会人基礎力を養う。 2) 高度な情報技術を駆使して高度な専門知識を身に付け、問題解決にアプローチでき、ハードウェア・ソフトウェア・システムの設計および実装を行うことができる。 3) 情報科学の基礎となる「数理科学」では、情報数学、確率・統計などの数理科学的な能力を養い、学問的・体系的な学習能力を育成する。 4) 「データサイエンス」「情報知能」「情報システム」「情報メディア」「ネットワークデザイン」の各分野の「基礎科目」は、応用科目により専門性を高め、さらに「演習科目」での学習を通じて専門性を高める。また、データサイエンスの意義やデータの収集、分析、活用に関する基本的な技術ならびに、ソフトウェアの仕組み、プログラミング言語、プログラミング技術、ネットワークの仕組み等の情報科学に関する基礎知識を身に付ける。 5) 基礎科目では、大量のデータを収集し効果的に分析する技術ならびに情報システムを実際に構築するためのシステム設計を学ぶ。システムの企画・計画を行うための技術を総合的に身に付ける。 6) 応用科目では、価値創造の対象となる企業や社会の仕組みと課題などについて理解し、かつ価値創造を遂行するための幅広い素養を身に付ける。 7) 演習科目では、プログラミングの演習ならびにそれまでに学んできた知識を、実際の事例に適用する体験を通して理解を深める。 8) 卒業研究では、これまでに学んだ専門知識を駆使し、価値を生み出すための課題を提案・実装する実践的行動力を実践する。								
ディプロマ	このからの卒業には現状の改善だけでなく、新しい価値を生み出すことが求められています。新技術の発展は、想像を超えるデータの収集とその分析を可能にしました。データサイエンス専攻では、情報技術だけでなくデータ分析能力やマネジメント能力、問題解決力を身に付けることで、新たな価値を創造できるデータサイエンスのプロフェッショナルを育成します。 ＜求める人物像＞ (1) 行動や意思に断り性を見出し、新たな発見をもたらす能力を身に付けた人 (2) 情報技術だけでなく情報システムに関する知識を身に付けた人 (3) 産業における情報システムの企画・設計に興味のある人 (4) 組織運営や企業経営に興味がある人								
ディプロマ	このからの卒業には現状の改善だけでなく、新しい価値を生み出すことが求められています。新技術の発展は、想像を超えるデータの収集とその分析を可能にしました。データサイエンス専攻では、情報技術だけでなくデータ分析能力やマネジメント能力、問題解決力を身に付けることで、新たな価値を創造できるデータサイエンスのプロフェッショナルを育成します。 ＜求める人物像＞ (1) 行動や意思に断り性を見出し、新たな発見をもたらす能力を身に付けた人 (2) 情報技術だけでなく情報システムに関する知識を身に付けた人 (3) 産業における情報システムの企画・設計に興味のある人 (4) 組織運営や企業経営に興味がある人								